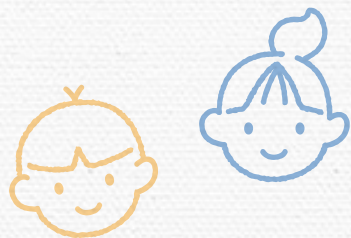


みんなでいっしょに、つないでいこう。

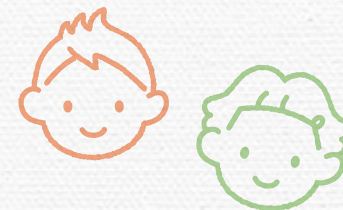
とよなかSDGs

未来バトンドリル





SDGs (エス・ディー・ジーズ) ってなあに？



それは、バトンを未来につなげること。

SDGs(エス・ディー・ジーズ)は、世界をよりよいものにするための17の目標。

2030年までに達成させる目標として国連で定められました。

今を生きるみんながこの目標を実現して、未来の人たちにバトンをつなげる責任があります。

2020年、豊中市はSDGsの達成に取り組む「SDGs未来都市」に選ばれました。

みんなも豊中市民のひとりです。未来のバトンを、いっしょにつないでいきましょう。



40万人の
とよなか
未来バトン

SDGs to 2030

「みんなで、いっしょに、つないでいこう。」

これからも、ずっと、みんなが幸せに暮らせるように。

SDGsは地球に住むすべての人にとって大切な目標。

1人の力は小さくても、とよなか40万人の市民が集まれば、

きっと、それは大きな力になる。今日から明日へ、とよなかから、世界へ。

豊中市は、心をひとつに、未来のバトンをつないでいきます。

SDGsの17の目標とは

世界をよりよいものにするために、国連は2015年から2030年で達成させる17の目標を定めました。「誰一人取り残さない」を合言葉に、地球上の自然環境を守り、経済を成長させ、世界の人たちがいきいきと暮らせる世界の実現をめざしています。



〈問題1〉

家庭で使いきれない食べ物を
持ち寄って寄付することを何という？

- ① リサイクル
- ② クールビズ
- ③ フードドライブ



1 貧困を
なくそう



こたえ

© フードドライブ



解 説

「もったいない」を「ありがとう」に。

フードドライブとは、家庭で使いきれない食べ物を持ち寄り、それを必要としている人や福祉団体、施設に寄付する活動のこと。とよなかでは、回収ボックスを置いているスーパーがあるよ。お米や缶詰、レトルト食品やインスタント食品、調味料など、集まった食品は賞味期限などを確かめて、子ども食堂や生活に困っている人たちの支援に活用しているよ。みんなの家にも眠っている食べものがないか、おうちの人に聞いてみよう。

いっしょに
やってみよう

- どうしたら給食の食べ残しをゼロにできるか話しあおう。
- 残った野菜を使って料理を作ってみよう。
- とよなかの食品ロスをなくす取り組みについて調べてみよう。

〈問題2〉

子どもだけでも気軽に行ける
食堂(子ども食堂)があるよ。
どんな時に行く食堂かな？

① お腹がすいた時

② ひとりでボーっとしたい時

③ 自分の話をだれかに聞いてもらいたい時

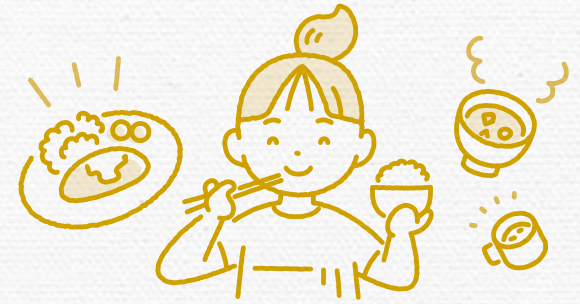


2 飢餓を
ゼロに



こたえ

ぜんぶ正解



解 説

みんなで食べると、心も体もほっかほか。

「子ども食堂」は子どもが一人でも気軽にいけて、みんなでごはんを食べながら、楽しく過ごせる場所。とよなかでも「子ども食堂」が増えていて、ほっとできる子どもたちの「居場所」にもなっているよ。おいしくてたのしい食事は体と心にとって、とても大切なものだよ。日本で15%の人が貧しい状態にある※といわれていて、毎日の食事を十分にとれない人もいるんだ。なにかできることがないか考えてみよう。(※ 日本ユニセフHPより)

いっしょに
やってみよう

- 住んでいる地域にどんな子ども食堂があるか調べてみよう。
- なにか困っている友だちがいたら声をかけてみよう。
- いつもお腹をすかせている人たちのためにできることを考えてみよう。

〈問題3〉

悩みごとがあるときは、
どうすればいい？

- ① 家族や先生に相談する
- ② 友だちに話を聞いてもらう
- ③ 相談の窓口とつながってみる



3 すべての人に
健康と福祉を



こたえ

ぜんぶ正解



解説

一人で抱えこまないで誰かに相談しよう。

みんなが健康であるためには、体はもちろん、心も健康であることが大切だよ。困っていることがあったり、悩みごとがあったり、いやなことがあったりしたときは、一人で抱え込まないで誰かに話を聞いてもらおう。家族や学校の先生、仲のいい友だちでもいいね。家の人や友だちには言いにくいときは、とよなかの子ども専用の相談窓口を利用してみよう。話をするだけで、気持ちがラクになることもあるよ。

いっしょに
やってみよう

- とよなかの子ども専用相談窓口について調べてみよう。
- 家族や友だち、近所の人など、身近な人にやさしくしよう。
- みんなが健康であるために何が必要か話しあってみよう。

参考：豊中市子ども専用チャット相談「とよなかっ子ライン」 <https://www.city.toyonaka.osaka.jp/kosodate/soudan/sougousoudan/2020toyonakaline.html>

参考：豊中市子ども専用フリーダイヤル「とよなかっ子ダイヤル」 <https://www.city.toyonaka.osaka.jp/kosodate/soudan/sougousoudan/kc.html>

〈問題4〉

勉強すると
どんなことができるようになる？

- ① ふだんの生活が楽しくなる
- ② やりたいことができるようになる
- ③ いろいろなことが便利になる





こたえ

ぜんぶ正解



解 説

読み書きができるって、すばらしい!

勉強ばかりしたくないな、もっと遊びたいな…と思ったことはない? 日本ではほとんどの子どもが学校に通っているけど、世界では家の仕事を手伝えるために学校に行けない子どもや、近くに学校がない子どもが5,900万人*もいるよ。文字を読んだり計算したりできると将来の仕事にも役立つし、勉強で身につけた知識は自分の人生を選ぶことにもつながる。だれもが学校に通える世界にするには、どうしたらいいか考えてみよう。(※日本ユニセフHPより)

いっしょに
やってみよう

- いま、いちばん勉強したいことは何か発表しよう。
- 将来の夢について語ろう。そのために何が必要か考えてみよう。
- とよなかの学習支援の情報配信を見てみよう。

〈問題5〉

となりの友だちの
いいところを3つ考えてみよう。

①

②

③





自分らしさ・その人らしさを 大切にしよう



解 説

男らしさ、女らしさより、自分らしさ。

「男の子だから○○○」「女の子なのに○○○」などと言われたりすることはないかな？
また、「男性は仕事して家族を支えるべきだ」「家事や育児は女性の方が得意」など、
性別で役割を決めつけたような言葉を聞いたことはないかな？大切なのは、「自分らしさ」
や「その人らしさ」と向き合うことだよ。性別にとらわれず、その人のいいところや得意
なところを知ることから始めてみよう。

いっしょに
やってみよう

- 「男だから」「女だから」という決めつけを書きだしてみよう。
- LGBTQについて調べて、みんなで話しあおう。
- あなたにとっての「自分らしさ」が何か考えてみよう。

〈問題6〉

とよなかで一人が1日に使う
水の量は何リットル？

- ① 約250リットル
- ② 約150リットル
- ③ 約50リットル





こたえ

① 約250リットル



解 説

2リットルのペットボトル、120本分！

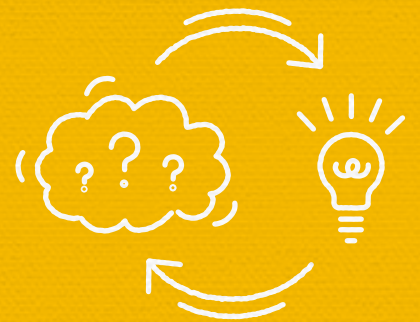
お風呂やトイレ、食事、洗濯など…とよなかにすむ一人が1日に使う水の量の平均は、249リットル(令和2年度)。水の惑星といわれる地球だけど、地球上の水のほとんどが海水で、飲み水や農業、工業に使える水はたったの0.01%。世界の人口は増え続けているから、これから水はますます必要になってくる。ちなみに、シャワーを浴びる時間を2分短くすると12リットルが節約できるそう。少しでも水が節約できるよう、くらしの中で工夫してみよう。

いっしょに
やってみよう

- 毎日使う水の量を減らすために、何ができるか家族で話しあってみよう。
- とよなかの水は、どうやってつくられているか調べてみよう。
- 世界で起こっている「水の問題」について調べてみよう。

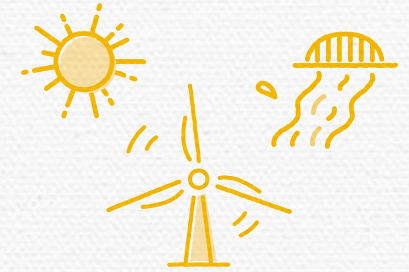
〈問題7〉

再生可能エネルギーには
どんなものがあるかな？





太陽光や風力など 自然の力がエネルギーに



解 説

再生可能エネルギーは地球にやさしい。

くらしに欠かせない電気。これまで日本は石炭や石油といった化石燃料による発電に頼ってきたよ。ところが、化石燃料は地球温暖化の原因となり、近い将来なくなってしまうといわれている。そこで、太陽光や風力、地熱など自然の力を利用した、使ってもなくならない「再生可能エネルギー」に注目が集まっている。まずは、おうちで使っている電気の時間を短くしたり、使っている電気を調べてみたり、みんなもできることや考えることから始めてみよう。

いっしょに
やってみよう

- 日本では再生可能エネルギーがどのくらい使われているか調べてみよう。
- これからの日本にはどれくらいのエネルギーが必要か調べてみよう。
- 世界のエネルギー問題について調べてみよう。

〈問題8〉

とよなかには、たくさんの企業があるよ。
大阪府で何番目に多いかな？

① 1番目

② 4番目

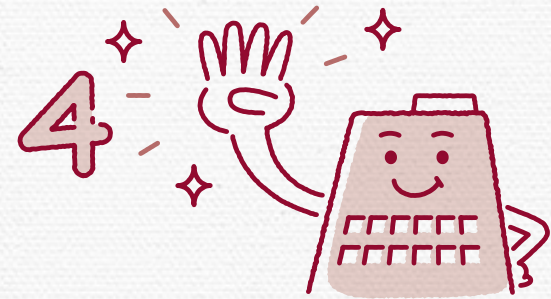
③ 10番目





こたえ

④ 4 番 目



解 説

だれもがやりがいを持って働けるとよなかへ。

SDGsがめざすのは、だれもがやりがいをもって人間らしく働ける世界。とよなかには、みんなが名前を知っているような大きな会社から、規模の小さな会社まで、およそ13,000の企業があって大阪府内で4番目に多いよ。若い人から子どもがいるお母さん、60歳以上のシニアの人たち、障害のある人たちなど、いろんな人が働いている。とくに南部地域に会社が集まっているから、どんな会社があるか調べてみよう。

いっしょに
やってみよう

- とよなかには、どんな仕事があるか調べてみよう。
- おうちの人に「仕事のやりがい」についてインタビューしてみよう。
- 生活していくうえで欠かせない仕事は何か考えてみよう。

〈問題9〉

あったら便利だなと思う道具は何？
発明家になったつもりで考えてみよう。





新しい技術で 産業を発展させよう



解 説

イノベーション(技術革新)で豊かな世界へ。

みんなが幸せに豊かにらせる世界をつくるには、水道や電気、水、道路や鉄道、病院など、みんなの生活を支える設備(インフラ)を整えることが大切だよ。さらに、さまざまな産業を発展させていくことが必要で、そのためには新しい技術を生み出すイノベーション(技術革新)が欠かせない。みんなの暮らしの中にもインターネットや自動運転の車、声で操作できる家電など、イノベーションの技術がたくさんあるよ。

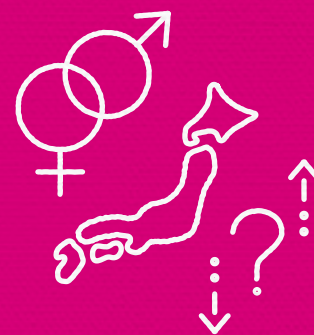
いっしょに
やってみよう

- 身の回りにどんな技術革新があるか考えてみよう。
- 世界のインフラについて、どんな課題があるか調べてみよう。
- 災害が起きたときに避難する地域の避難所を知っておこう。

〈問題10〉

ジェンダー平等ランキング、
日本は世界で何位？

- ① 10位
- ② 80位
- ③ 120位



10 人や国の不平等
をなくそう



こたえ

© 120位



解 説

違いを認めあい、みんなで力をあわせよう。

どのくらい男女の格差があるかを測る「ジェンダーギャップ指数ランキング(2021年)」を見ると、日本は世界156か国中120位で、先進7か国の中では最下位。この数字を見ると、なんとかしなくちゃ!と思うよね。他にもお金・仕事・教育など世界には様々な不平等があって、それらをなくそうといろいろな国が取り組みを始めているよ。世界中のみんなが平等で協力しあえる社会をつくっていこう。

いっしょに
やってみよう

- 男女の格差をうめるには、どうすればいいか考えてみよう。
- 身近で思いつく不平等は、どんなものがあるか考えてみよう。
- 世界にはどんな不平等があるかな?調べてみよう。

〈問題11〉

「とよなかに住み続けたい」と
思っている人は何パーセント?

Ⓐ 37%

Ⓑ 57%

Ⓒ 87%





こたえ

◎ 87%



解 説

みんなが安心して住み続けたいと思えるまちへ。

とよなかでは、みんなが「住みたいまち」「住み続けたいまち」と思えるようなまちづくりをめざしている。さらに、誰もが自分らしく暮らし続けられて、安全・安心と感じられるように、いろいろな取り組みも進めているよ。2021年にとよなかで行ったアンケートでは、「とよなかに住み続けたい」と答えた人が全体のおよそ87%※という結果に。みんなは、とよなが好きかな？どんなところが気に入っているか、発表してみよう。※豊中市 令和3年度市民意識調査より

いっしょに
やってみよう

- とよなかの「好きなところ」を発表しあおう。
- とよなかの魅力は、どういうところにあるか調べてみよう。
- 「住み続けたいまち」にするために必要なことは何か考えてみよう。

〈問題12〉

日本のフードマイレージは
世界で何位？

- ① 1位
- ② 50位
- ③ 100位





こたえ

A 1位



解 説

できるだけ国産を選んでエネルギーを節約。

「フードマイレージ」とは、食物などを輸送する距離のこと。これが高いほど、輸送にコストやエネルギーを使っていることになるよ。スーパーに行くと、アメリカのブロッコリーやオーストラリアの牛肉など、いろいろな国の食べ物が並んでいるよね。食料の多くを外国からの輸入に頼っている日本は、フードマイレージが世界一。ランキングを少しでも下げるには、日本国内や地元でとれた食材を選ぶ必要がある。地球を守るためには、買う人にも責任があることを知っておこう。

いっしょに
やってみよう

- アメリカ産の小麦が日本に着くまでの移動距離を調べてみよう。
- 生活のなかでムダ使いしていないか考えてみよう。
- とよなかのリサイクルの取り組みについて調べてみよう。

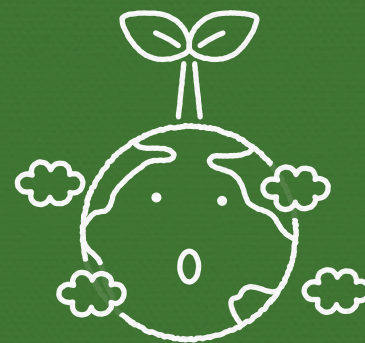
〈問題13〉

世界中の人々が日本と同じくらしをすると
地球何個分の資源が必要？

Ⓐ 5.0 個

Ⓑ 2.8 個

Ⓒ 1.7 個





こたえ

② 2.8 個



解 説

みんなが住む地球は一つしかないから。

たとえば、森の木を必要以上に伐採したり、温暖化の原因になる二酸化炭素を多く排出すると、地球環境に負荷をかけることになるよね。人間の活動が地球環境にどれくらいの負荷を与えているかを測る指標に「エコロジカル・フットプリント」があるよ。もし、世界の人々が全て、今の日本と同じような生活をした場合は、地球2.8個分の自然資源が必要になるといわれている。ひとりひとりが地球のことを考えてくらすことが大切だね。

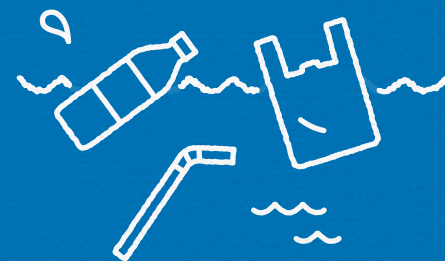
いっしょに
やってみよう

- 各国のエコロジカル・フットプリントを調べてみよう。
- 温暖化が進むと、どんな影響があるか調べてみよう。
- 「豊中市地球温暖化防止地域計画」について調べてみよう。

〈問題14〉

大阪湾の「海ごみ」のうち、
プラスチックは何パーセント？

- ① 20%以上
- ② 50%以上
- ③ 80%以上





こたえ

◎ 80%以上



解 説

将来、お寿司が食べられなくなるかも!?

「海ごみ」とは、海に流れこんだり、海底に沈んだりしているごみのこと。大阪湾に流れこむ海ごみの約80%がプラスチックで、細かく砕かれたプラスチックごみを魚などの生きものが食べてしまうことが問題になっている。海に直接捨てられたごみ以外にも、街中や山に捨てられたごみも雨や風で流されて川から海へと運ばれて海ごみになるよ。千里川や天竺川の水も大阪湾に流れていく。海の魚を守るために、とよなかのみんなでこの問題に取り組もう。

いっしょに
やってみよう

- プラスチックごみが、生態系にどんな影響をあたえるか調べてみよう。
- プラスチックのリサイクルについて調べてみよう。
- 海ごみを減らすために、自分たちは何ができるか考えてみよう。

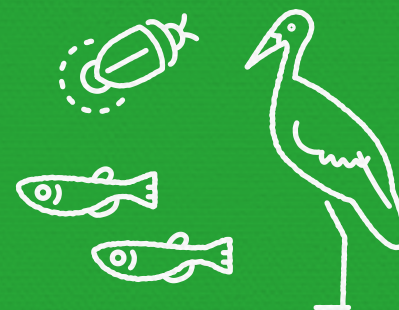
〈問題15〉

とよなかが守ろうとしている
希少な生きものは次のどれ？

① コウノトリ

② ホタル

③ メダカ





こたえ

⑧ ホタル



解 説

生きものがくらせる豊かな環境を守ろう。

森林や川、里山、竹林などの自然環境が残るとよなかには、いろいろな生きものがすんでいるよ。なかでも、春日町の一部で生息しているヒメボタルは、さまざまな府県で絶滅危惧種または準絶滅危惧種に指定されている希少なホタル。とよなかではヒメボタルを守るために、エサになる巻き貝を生息地に増やす活動をしたり、生え過ぎた竹を伐って環境を守ったりしているよ。ヒメボタルが絶滅してしまわないように、ひとりひとりが、とよなかの自然を守っていこう。

いっしょに
やってみよう

- ヒメボタルを守るための、とよなかの取り組みを調べてみよう。
- とよなかに、どんな生きものがいるか調べてみよう。
- 日本の絶滅危惧種について調べてみよう。

〈問題16〉

世界の難民のなかで、
子どもはどれくらいいる？

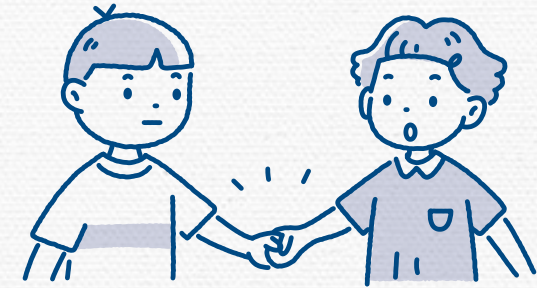
- ① 30人に1人
- ② 10人に1人
- ③ 2人に1人





こたえ

◎ 2人に1人



解 説

世の中の動きを知ることから始めよう。

「難民」とは、戦争や紛争、飢饉、貧困などの理由で、生まれた国から離れてくらす人のこと。世界におよそ8,000万人※いるといわれていて、そのうちおよそ50%が18歳以下の子どもだよ。世界のすべてのしくみを守るためには、「平和」であることと、「公正」=公平でかたよりのないことが、とても大切。テレビやネットのニュースや新聞から正しい情報をキャッチして、世界や社会で何が起きているかを知ることから始めよう。 ※国連HPより

いっしょに
やってみよう

- 世界の紛争や難民について調べてみよう。
- 豊中市の自治基本条例について調べてみよう
- おうちの人に、選挙について聞いてみよう。

〈問題17〉

SDGsの達成にむけて
自分ができるところを、3つ考えてみよう。

ひとりでできることは？

友だちといっしょにできることは？

家族といっしょにできることは？





力をあわせて 目標を達成しよう



解 説

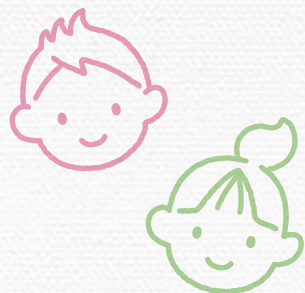
とよなかを「明日がもっと楽しみ」と思えるまちに。

SDGsがめざす「持続可能な開発」を達成するためには、地球上のあらゆる国や企業、団体、個人が協力しあう必要がある。とよなかでは、市民・事業者・教育機関・行政などが協力しあい、パートナーシップでSDGsの達成をめざす「豊中市SDGs未来都市計画」という計画があるよ。いろんな世代の人がつながり、アイデアを出し合って、「明日がもっと楽しみ」と思えるまちにしていこう。

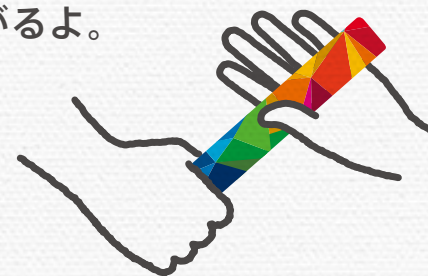
いっしょに
やってみよう

- SDGsの達成をめざすネットワークについて調べてみよう。
- とよなかをよいまちにするために、どんな人と協力できるか考えてみよう。
- “明日がもっと楽しみ”と思えるまちにするには、何が必要か考えてみよう。

しあわせのバトンを未来につなぐために、 今できることから始めよう。



世界を、日本を、とよなかを、みんなの暮らしを、
よりよいものにするためにどうすればいいか、イメージできたかな？
みんなの「ちょっといいこと」の積み重ねが、しあわせな未来につながるよ。
家族のために、地球のために、未来のとよなかのために、
みんなでいっしょに、今すぐ、できることから始めよう。



みんなの、とよなか未来バトン宣言!!

_____の目標を達成するために

_____をしていきます。